

延岡市都市計画道路の見直し方針（案）に関する意見に対する市の考え方

○意見募集期間：令和3年7月26日～令和3年8月24日

○結果：提出者4名 提出された意見5件

意見全体について：今回頂きましたご意見につきましては、10月開催予定の延岡市都市計画審議会に報告させていただきます。

番号	意見の対象路線	意見の概要	市の考え方
1	No. 10-1 貝の畑土々呂通線 （区間1） No. 11 沖田通線 No. 22 若葉通線 No. 23 笹目通線	<p>(1)代替案である「地域間の交通処理を担う市道整備計画を沖田ほ場整備に反映させる」について事前説明、意見ヒアリングをお願いします。ふれあいの里～塩浜間の裏道は近年交通量が増しており、事故が発生する恐れがあります。</p> <p>(2)廃止案については賛成します。 市の南部の重要課題は次の2点と考えます。 (a)土々呂小学校～土々呂駅のスクールゾーンの交通量を減らし、子供たちを守ること。（事故防止） (b)県道稲葉崎平原線の伊達町1丁目～鶴ヶ丘間の渋滞を減らすこと。（渋滞緩和） この4つの路線は(b)については効果は限定的であり、(a)については寄与していないと判断します。</p>	<p>(1)見直し方針を公表しましたら、まず、廃止候補路線の関係住民の皆さまを対象とした説明会を予定しているところです。説明会の中で代替案についての説明も行い、住民の皆さまのご意見をお聴きしたいと考えております。</p> <p>(2)(a)について ご指摘のとおり当スクールゾーンは国道10号線の渋滞時に迂回する車が多いことから、この区間の交通量を減らすため、国道10号線の渋滞解消や延岡南道路の利用促進について今後も関係機関と連携して検討を行ってまいります。 また、現道の交通安全対策につきましても、地域の意見を伺いながら、道路管理者である宮崎県に引き続き対策の実施に取り組んでいただくよう要望してまいります。</p> <p>(b)について 現在宮崎県において伊達町1丁目～南延岡駅間の4車線化事業に着手しておりますが、ご指摘の渋滞緩和のためには、南延岡駅以南についても整備をすることにより効果が発揮されることから、この区間につきましても引き続き整備していただくよう今後も要望してまいります。</p>
2	No. 10-3, 4, 5, 6 貝の畑土々呂通線 （区間3～6）	<ul style="list-style-type: none"> 当路線を廃止する点について、不賛成です。 市の南部の重要課題は次の2点と考えます。 (a)事故防止 土々呂小学校～土々呂駅の交通量を減らし、子供たちを守ること。他県ではスクールゾーンの交通事故が発生しました。県道が国道10号線の抜け道となり交通量が多い。ポールで歩道と区別しているが、極めて窮屈な状態である。 (b)渋滞緩和 県道稲葉崎平原線の伊達町1丁目～鶴ヶ丘間の渋滞を減らすこと。大きくとらえれば10号線の外に、市の南北をつなぐバイパスを整備すること。 記載されているコメントについて 「県道の北方土々呂線、土々呂日向線等が代替となる。」と記載されているが、小学校のスクールゾーンを通る狭い道が代替になるというのは、安全なまちづくりにはそぐわないと考えます。 重要課題の解決について (a)のためには、現道の拡幅案と県道のバイパス道路整備案があると考え、この都市計画道路は県道のバイパス道路となり、スクールゾーンの安全性を高めることができます。 (b)のためには、貝の畑土々呂通線はバイパス道路になります。区間6, 5, 4, 3から口広橋を経由して大瀬大橋経由で北上すると市の南北がつながり、便利になり、消防活動の支援にもなります。いま県道稲葉崎平原線の拡幅工事が南延岡駅以北で行われていますが、それ以南は手つかずであり、鶴ヶ丘団地入口の混雑もあり、市の南北をつなぐバイパスとしては不十分と考えます。 	<p>当路線につきましては、広域的な交通処理を担う道路として計画決定されたものですが、高速道路の整備が進むなど決定当時の状況から変化が生じており、必要性が低下していること、また、市街化の進展により事業化した場合の家屋移転等による周辺地域への影響が大きいなど実現性にも課題があり、廃止候補と判断したところです。 さらに、区間5に位置する急傾斜地につきまして、土々呂地区から土砂崩壊対策の要望があっていますが、当路線が都市計画道路になっている点が急傾斜地対策事業の支障になっていることもあり、災害防止の観点からも早急な見直しが必要となっております。</p> <p>(a)について ご指摘のとおり当スクールゾーンは国道10号線の渋滞時に迂回する車が多いことから、この区間の交通量を減らすため、国道10号線の渋滞解消や延岡南道路の利用促進について今後も関係機関と連携して検討を行ってまいります。 また、現道の交通安全対策につきましても、地域の意見を伺いながら、道路管理者である宮崎県に引き続き対策の実施に取り組んでいただくよう要望してまいります。</p> <p>(b)について 現在宮崎県において伊達町1丁目～南延岡駅間の4車線化事業に着手しておりますが、ご指摘の渋滞緩和のためには、南延岡駅以南についても整備をすることにより効果が発揮されることから、この区間につきましても引き続き整備していただくよう今後も要望してまいります。 また、市の南北をつなぐバイパスについては、国道10号延岡道路、南延岡道路が同様の機能を有していると考えられるため、当道路の利用促進について関係機関と連携して検討を行ってまいります。</p>
3	No. 17-3 昭和の中川原通線 （区間3）	<p>所有する土地が昭和の中川原通線No. 17-3の一面に該当すると思えます。この数年、土地の処分の支障となっているので、廃止候補に移行をお願いします。</p>	<p>当路線につきましては、十分な交通機能、都市防災機能を有するような代替となる道路が周辺にありませんので、これらの課題を踏まえた検証をする必要があると判断し、検証継続②としております。 検証継続路線につきましては、計画変更や代替路線の整備の検討を行い、今後の方向性を決めていきたいと考えております。 なお、ご意見の土地の処分につきましては、具体的にご相談いただけましたら、可能な範囲で対応を検討したいと思っておりますのでご理解の程よろしくお願いたします。</p>
4	No. 18 桜ヶ丘通線	<p>○桜ヶ丘通線の見直し 交通事故は年々減少しているが、小学生低学年の事故率が高いのが現状である。市営住宅に多くの小学生が居住しており、この区間を通学せざるを得ない。 千葉県八街市の交通事故の反省から、安全な通学路を確保すべきである。そのために道路の拡幅は必要であり、道路沿いの排水側溝にフタをして歩道を確保すべきである。</p>	<p>ご意見のとおり通学路の安全確保は重要な課題であると認識しております。当路線は現道に歩道がないことから歩行者に対する安全性が十分に確保されていないため、これらの課題を踏まえた検証をする必要があると判断し、検証継続②としております。 ご意見いただきました排水側溝を活用した歩道設置については都市計画道路の代替案の一つとして有効な手法と考えられますので、今後住民の皆さまのご意見もお聴きしながら検討を進めてまいります。</p>
5	No. 21-3 東出北通線（区間3）	<p>NHK中継放送所横の市道は車の離合ができない箇所があり、車が水田に脱輪したこともある。 夕方時には国道の混雑を回避する車で南進・北進とも混雑する場合があります。</p>	<p>生活道路としての機能の充実は図っていく必要があると考えており、ご意見いただきました内容につきましては、地域の皆さまのご意見もお聴きしながら、現道の改良ができないものか必要な協議・検討を進めていきたいと考えております。</p>